

第 3 章	社会(公民)	名前:		日 付	No.02
	日本国憲法				

[問題 1]

次の文の①, ②に適語を入れよ。

日本国憲法は, 国の(①)であるため, 憲法に反する法律や命令は(②)となる。

[解答欄]

①		②	
---	--	---	--

[問題 2]

次の①～③は, 日本国憲法の 3 つの基本原則を示したものである。それぞれ何という原理か。

- ① 戦争を放棄し, 平和を強く希求する原理。
- ② 戦前の天皇主権を否定し, 政治は国民によって行われるという原理。
- ③ 国民の自由や権利など, 人間らしく生きる権利を保障する原理。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 3]

次の文の①～④に適語を入れよ。

日本国憲法の基本原則の 1 つに国民主権がある。それは前文と第 1 条に示されている。

先ず前文には「日本国民は・・・ここに(①)が国民に存することを宣言し, この憲法を(②)する。」とある。また, 第 1 条には「天皇は日本国の(③)であり, 日本国民統合の(③)であってこの(④)は主権の存する日本国民の総意に基づく。」と示している。

[解答欄]

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

[問題 4]

次の各問いに答えなさい。

「天皇は日本国の()であり, 日本国民統合の()であって, この地位は主権の存する日本国民の総意に基づく。」

- (1) ()内に適語を入れなさい。
- (2) この条文は, 憲法の三原則の中のどの原則と関係が深いですか。
- (3) 天皇がおこなう憲法で定めのある行為を何といいますか。
- (4) 天皇が(3)の行為を行うときに, 助言と承認を与えるのは, どこですか。

[解答欄]

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

[問題 5]

次の憲法条文を読んで、以下の各問いに答えなさい。

1 項 国権の発動たる(①)と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 項 陸海空軍その他の(②)はこれを保持しない。国の(③)は、これを認めない。

(1) 条文中の①～③にあてはまる語句を次の[]から選びなさい。

[核兵器 戦争 交戦権 自衛権 戦力]

(2) 上の条文は憲法第何条ですか。

(3) 上の条文は日本国憲法の基本原則のうち、どの原則をあらわしたのですか。

[解答欄]

(1)①		②		③		(2)	
(3)							

[問題 6]

次の文中の①～⑥にあてはまる語句を書け。

わが国では、第二次世界大戦末期の 1945 年の 8 月 6 日に(①)、9 日に(②)と、2 つの都市に原爆が投下され、多くの死傷者がでた。1945 年 8 月 14 日に日本政府はポツダム宣言の受諾を決め、翌日ラジオで国民に伝えた。

1950 年、(③)戦争が始まると、安全保障に対する見方が変わり、(④)(GHQ)の指示によって(⑤)が設置された。それは、1952 年に保安隊、1954 年に(⑥)へと改められた。(⑥)は、「わが国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」目的でつくられた。政府は、(⑥)について、自衛のための必要最低限の実力であって、「戦力」ではない、という見解に立っている。

[解答欄]

①		②		③		④	
⑤		⑥					

[問題 7]

憲法 9 条に「陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない」とあるが、以下のア～エの下線部のうち、誤っているものを 1 つ選んで、記号と正しい語句を答えなさい。

ア 日本は戦力は保持しないが、自衛のための最低限度の実力として自衛隊を組織している。

イ アメリカと日本は二国間でサンフランシスコ平和条約を結び、日本国内のアメリカ軍が駐留している。

ウ 自衛隊は国際紛争の解決のために国連の平和維持活動(PKO)に非軍事部門でのみ参加している。

エ 日本は、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」いう非核三原則をかかげている。

[解答欄]

--